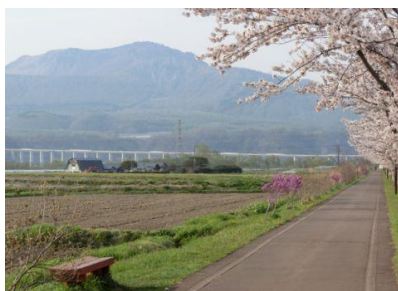


春のおすすめ ジオパーク探検!

洞爺湖有珠山ジオパークには、大地の魅力に触れられる、身近な場所が多くあります。この季節から楽しめる、散策路や施設のいくつかをご紹介します。



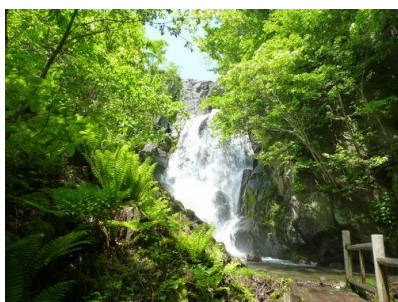
サイクリングロード だてかぜ 伊達風のメモリー (伊達市)

旧胆振線の線路跡を整備した約 5.4 kmのサイクリングロード。山下町から上長和まで、平らで直線の多い道です。桜並木もあり、有珠山と昭和新山の風景も楽しめるコース。



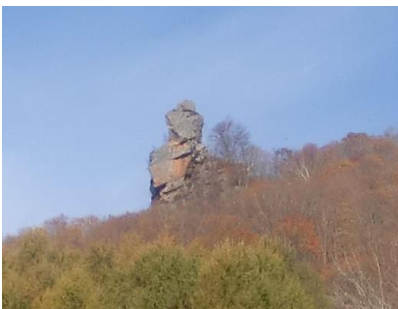
道の駅とようら (豊浦町)

5月下旬からはイチゴの最盛期。豊浦町では、80 年程前から土壌や気候の特徴に合わせたイチゴの栽培技術が培われてきました。道の駅では、新鮮なイチゴのほか、イチゴを使ったお菓子等が並びます。



そうべつ 壮瞥滝 (壮瞥町)

洞爺湖の水の流出口。水は高さ 18mの高さから流れ落ち、やがて長流(おさる)川と合流します。滝の周りの岩石は、数十万年前の高温の火砕流堆積物。駐車場から滝までは散策路が整備されています。



えぼしいわ 烏帽子岩公園 (洞爺湖町)

洞爺湖の東湖畔、山の斜面にとがった岩が見えます。この岩は、地下から上昇してきたマグマが冷えて固まったもので、ここに火山があった証拠です。えぼし岩公園付近は桜も多く、春の散策にお勧めです。

ジオパークは、「大地の成立ち」と人間のつながりを楽しく学べる地域のこと。日本国内にはジオパークの認定を受けた地域が43地域、ユネスコ世界ジオパークの認定を受けた地域が8地域あり、それぞれが「大地の成立ち」の物語を、観光や教育など地域の活性化につながる活動をしています。